石岡市立東成井小学校
学校だより　１号
令和５年４月１８日
校長　石崎　重臣

太郎・次郎

「太郎・次郎」は，校庭にそびえるいちょうの木です

みつけよう　かんがえよう　やってみよう！

春のあたたかい風が桜の花びらを一足早く、校庭に運んできてくれました。４月１０日（月）の新任式・始業式、１１日の（火）の入学式を経て、全児童１０４名がそろい、令和５年度がスタートしました。今年の東成井小の目標は「みつけよう　かんがえよう　やってみよう」です。始業式で児童に話した「心のスイッチ」という詩を紹介します。

「心のスイッチ」　東井義雄

人間の目は　ふしぎな目
見ようという心がなかったら
見ていても　見えない。
人間の耳は　ふしぎな耳
聞こうという心がなかったら
聞いていても　聞こえない。
おなじように先生の話を聞いても
ちっとも聞こえていない人がある。
ほんとうにそうだと
腹の底まで聞く人もある。
同じように学校に来ていても
ちっともえらくならない人がある。
毎日ぐんぐんえらくなっていく人もある。
今までみんなから
つまらない子だと思われていた子でも
心にスイッチがはいると
急にすばらしい子になる。
心のスイッチが人間をつまらなくもし
すばらしくもしていくんだ。
電灯のスイッチが
家の中を明るくもし、暗くもするように。

みつけよう
かんがえよう
やってみよう

「新年度のスタートは、みなさんの心のスイッチが入る日です。季節が春に変わり、学年も一つ増えて変わりました。教室が変わり、担任の先生も変わり、きっと席に着いたら、見えてくる景色も変わっているはずです。たくさんのステキなことをこの四月に見つけてみましょう。心のスイッチが入ったら、次は自分で考えて、やってみることが大切になってきます。新しい目標をもって、実り多い一年にしていきましょう。」と声をかけました。

入学式では、１４名の新入生が元気に入学しました。保護者の方々、先生方、頼もしい６年生に見守られて、東成井小学校での６年間の生活を共にする大切な友達との出会いの時でした。この日の出会いに感謝して、お互いのよさを認め合い、いっしょに成長していけるように支えていきたいと思います。

これから、保護者や地域の皆様に信頼される魅力ある学校づくりを目指していきます。「なるいっこ」の健やかな成長のために、何とぞご支援とご協力をよろしくお願いいたします。